

北海道大学  
教育学部  
学部案内

150<sup>th</sup>  
HOKKAIDO UNIVERSITY

**Hokkaido University**

**School of**

**Education**

# 人間の科学

としての

教育学を追求する

## 北海道大学教育学部からの メッセージ

### 教育学の専門的な研究・教育の場

北海道大学教育学部は大学院の教育組織である教育学院、研究組織としての教育学研究院とともに、「発達と学習の現代的課題にこたえる教育学の創造」を目的にして研究・教育を行っています。この目的に沿って学校教育だけでなく、家庭・地域・企業など社会の様々な領域での教育の問題を扱っています。学校や社会における心や体の発達・学習についての研究・教育も重要な領域としています。

### 教育学部4年間の履修の流れ

一年次	二年次		三年次		四年次	
一学期・二学期	一学期	二学期	一学期	二学期	一学期	二学期
全学教育科目	卒業論文					
	教育学基礎演習	専門演習Ⅰ	専門演習Ⅱ	専門演習Ⅱ	専門演習Ⅱ	専門演習Ⅱ
	調査実習・実験実習					
	専門科目					

### 多様なバックグラウンドを持つ教授陣と少人数教育

教育や発達幅広い内容をもっていて、アプローチの仕方も多様です。そのため、教育方法や授業論、歴史、思想などの教育学をベースにした教員だけでなく、心理学、社会学、社会福祉学、社会政策学、体育学、医学、運動科学などを学問の基礎にしている教員もいます。多様な教員によって、幅広い内容の学問が展開され、総合的な形で研究・教育を行っているのが、本学部の特徴の一つです。

教育学部は1学年が50人～60名と小規模で、この点を生かして、少人数の演習による教育を重視しています。2年次から演習(ゼミ)が始まります。

### 様々な道で活躍する卒業生

教育学部の卒業生の進路や目標は多様です。教員を始めとする教育に関わる専門的な職業に就く人、公務員としてあるいは民間企業等での貢献を選ぶ人もいます。また、3割が大学院に進学し、専門職に就くことや研究者の道を選ぶ人もいます。

北海道大学教育学部は、  
社会の担い手として幅広い視野を  
持った人を育てていくために、  
教職員一丸となって、  
研究・教育を行っています。

興味をもたれた方は、この学部案内やウェブサイト、オープンキャンパス等を通して、より詳しい情報を入手され、私たちとともに学ぶ道を検討してください。皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

## 1年次は全員、総合教育部に所属

北海道大学では  
多様な入試で学生を受け入れています。  
北海道大学に入学した1年生は全員、  
「総合教育部」に所属して  
教養科目や基礎科目を学びます。

私たちが  
北海道大学教育学部の  
4年間を紹介します!

人数が少ないため、  
友達を作りやすく、  
みんな仲が良いです!  
先輩や後輩との  
関わりも多いですよ。

## 年次



林 啓樹 3年生 中山 実優 3年生

案内役

期待していた通り、仲が良いです!  
生徒も教授も思いやりのある  
優しい方々が多く、自分の個性を  
活かしながら学ぶことができます。

須藤 愛 1年生

## クラスで仲間をつくる

- 「総合教育部」では学生が所属する基礎集団(クラス)がつくられます。
- 全国各地から入学した学生が新しく人間関係をつくることのできる場所となっています。
- 学部別入試で教育学部に入学した学生は、5組(30名)に所属します。
- 総合入試文系で入学した学生は、総合文系の14・15組(100名)に所属し、1年次終了後に教育学部へ移行した場合、2年次から教育学部に所属することになります。
- それぞれのクラスには、クラス担任・副担任の教員がついて、みなさんの相談に応じます。
- 5組のクラス担任・副担任は、教育学部の教員が担当します。
- クラス単位で参加する北大祭などの行事もあり、クラスメイトとの絆が深まります。



## 6月 北大祭

1年生のクラスごとに模擬店を出店! その他、いろいろな学部・学科の  
展示、留学生によるお店も並び、キャンパスは多くの人で賑わいます。



入学当初は新しい環境に馴染めるか  
不安で緊張していましたが、北大祭の  
準備のために毎日クラスの人達と  
集まって作業をするうちに自然と  
それ以外の時間でも毎日集まって  
話すようになっていきました。

野々村 光将 1年生



## 4月 新入生歓迎合宿

教育学部のメンバーとなった、学部別入試で入学した30人、2年  
次に総合入試から移行してきた20人、3年次に編入・転部入学し  
てきた10人を歓迎する合宿です。この合宿の計画・運営は、学  
部3年生が構成する実行委員会がすべて担います。先輩学部生  
の他、教員、ときには院生も参加して行われます。先輩、先生方  
と、学年を超えた交流の輪が広がります!



総合教育部では、水産学部の先生  
など、中々接することのできない  
学部の先生方の授業を受けること  
ができます。文理を横断した各分野  
の専門の先生方の授業は大変興味  
深いです。第二外国語の勉強も  
楽しかったです。

中川 実優 1年生



## 総合教育部の授業

様々な専門分野の教員の授業を受け、幅広い教養を身につけます。

### 全学教育科目(一部)

教養科目	一般教育演習(フレッシュマンセミナー)	20人程度で行う演習。文献講読・発表(プレゼン)・討論など大学での学び方を実践的に学ぶ
	総合科目	学問分野を超えた問題を扱う文系・理系を問わず複数の教員が連携して行う講義
基礎科目	主題別科目	各分野を専門とする教員による講義
	外国語科目・外国語演習	世界とのコミュニケーション、研究に必要な外国語力を身につける講義・演習
	共通科目	体育学、情報学、統計学、インターンシップ
	人文・社会科学の基礎	文系の新入生向けの講義
	心理学実験	人間の心理を客観的にとらえる方法を学ぶ

## どうして北海道大学教育学部へ?

須藤 愛・1年生(石川県)学部別後期

北海道大学教育学部には発達心理学  
というゼミがあると知り、そこで研究したい  
と思ったので。文系の中で1番少人数  
の学部だったのも魅力的でした。



影山 陽哉・1年生(札幌市)学部別前期

様々な分野の学問に触れる機会が欲し  
かったため、教員志望だったが教育系の  
単科大学ではなく総合大学の北海道  
大学を選びました。



古橋 咲代・1年生(愛知県)学部別後期

北海道の四季を感じられる広大な  
キャンパスの中で少人数で教育を  
深められる環境に魅力を感じました。



櫻庭 肇人・1年生(小樽市)学部別前期

今まで通ってきた学校の在り方に  
疑問を持っていました。どんな学校が  
通いやすいか、を考えたくて教育学部  
への入学を決めました。



中川 実優・1年生(大阪府)学部別前期

自然が豊かなキャンパスに惹かれたのと、  
漠然と教育に興味があり、北海道大学  
教育学部ならさまざまな視点から教育を  
学べるのではないかと考えたからです。



福嶋 柳之丞・1年生(七飯町)学部別前期

教育や福祉の場面で心理学を活用  
することに興味を持っていたため、  
より実践的な心理学を学べる北海道  
大学教育学部を選びました。



## 新しいメンバーを加える

2年次進級時、  
総合入試の学生から  
20名が教育学部へ  
移行してきます。

学部入試の学生も  
総合入試の学生も  
仲が良かったです！

## 年次

いよいよ専門科目の  
講義や演習、実習が始まります！

### 2・3年次の授業

必修科目	教育学基礎演習	教育の自由・権利と法
	教育学概説	教育の歴史
		教育の思想
		教育の内容及方法
		発達と学習1、2
選択必修科目	専門演習→各ゼミの紹介はp.17-24に	教育と社会1、2
	教育基礎論(講義・調査実習)	健康体育と衛生1、2
	教育社会科学(講義・調査実習)	
	教育心理学(講義・実験実習)	
	健康体育学(講義・実験実習)	
選択科目	教育学特別講義	
	教育学国際講義	

教育学概説で4分野の内容を広く  
学ぶことで、そこで自分の興味関心  
に気づくことができる点が良かった  
です。

堀 恒星 2年生



## 2年次後期に専門演習(ゼミ)を受講します！

2年次後期より専門演習(ゼミ)を受講。本格的にゼミに所属する前に  
専門演習を受講し、ゼミの研究に触れることができます。1つのテーマ  
につき1コマ(90分)で行われ、最大2つまでゼミを選択できます。

2年生前期の授業では自分が思った  
以上に多くの分野の話がされました。  
そこで幅広い知識を学び、そこから  
後期で気になった専門演習を  
取ることができて良かったです！

小峰 輝士 2年生



## 移行歓迎イベント



専門科目の授業は非常に  
面白いです。普段から考  
えて学ぶクセをつける  
とより深められると思  
います。

赤田 一真 2年生



全学教育だった1年生の頃に比べ、専門科目  
が1日の授業のほとんどを占めるよう  
になりました。自分の興味のある学びが盛り  
沢山!でしたが、内容や課題はより専門  
的で難しくなり、大変だと感じることも  
ありました。

白土 ころこ 2年生



## 2年次後期の時間割例

	月	火	水	木	金
1			近現代学校史		青年期教育論
2	教育思想史		外国地誌(文学部)	教育社会学	生涯学習論
3		臨床心理学	青年期教育(専門演習)	教育福祉論	学校社会学
4		教育臨床心理学(専門演習)	体育社会学(専門演習)	教育福祉(専門演習)	
5					
6					

## どうして北海道大学教育学部へ？

白土 ころこ・2年生(札幌市)学部別前期

高校3年生の夏に、オープンキャンパス  
で体験したゼミが楽しかったのと、将来  
そこにいる自分の姿を思い描けたから  
です！



小峰 輝士・2年生(埼玉県)総合入試文系

1年生の教養の授業で学部の先生と  
一対一で授業してもらった機会があっ  
てそこで教育学部を勧められたから  
です！



佐藤 伶音・2年生(苫小牧市)学部別前期

高校時代に、現状の学校教育に疑問  
を強く持ち、学問的に良い教育とは  
何かを勉強、研究をしようと思ったから  
です！



小林 暖佳・2年生(札幌市)学部別前期

先生になるための授業だけでなく、  
教育心理学や教育社会学など様々な  
分野について学ぶことができるから  
です！



堀 恒星・2年生(神奈川県)総合入試理系

今まで受けてきた教育に対して思っ  
ていた疑問について、学問的に深く学  
びたかったから。総合入試のシステム  
で理系から教育学部に移行しました。



赤田 一真・2年生(札幌市)総合入試文系

私の人生の大半は教育を受けてきた  
期間です。教育の現状と理想像に  
ついては自分で考え直したいと思  
うのは必然なのかもしれません。



## 転部・編入の10人が 教育学部に合流!

ゼミへの本格的な所属が始まる!

## 年次

アットホームな雰囲気  
が魅力です。先生方との距離  
も近く、手厚くサポートして  
くださいます。



林 啓樹 3年生

中山 実優 3年生

### ゼミって?

ゼミとは「少人数で行う専門性の高い授業」のことです。学生は自身の興味・関心に応じて好きなゼミに所属します(30以上のゼミの中から、希望のゼミに入ります)。同じゼミの学生とは学年に関係なく、とても仲良くなれます!

ゼミの特徴は、各分野のプロフェッショナルである先生方と、同じ机で、同じ高さの目線で行われるということです。先生方と一緒に文献を読んだり実験をしたりすることを通して、それぞれの分野の基礎理論や研究方法を学びます。

様々なゼミに参加してから本ゼミ  
を選択できるので、本当にやりたい  
勉強ができます!

中溝 颯真 3年生



ゼミでの経験は  
大きい!

北海道大学教育学部は幅広い分野の講義  
が受けられるのが魅力です! 広い視野を  
持って教育に携わる力がつきます。少ない  
人数で考えを深めることができ、発表の  
力もつきました。

橋 あぐり 3年生



### 3年次後期の時間割例

	月	火	水	木	金
1	言語発達論				発達心理学(実験実習)
2	乳幼児発達論(専門演習)	言語発達論(専門演習)			発達心理学(実験実習)
3	産業教育論	身体運動システム論			体育社会学
4		教育臨床心理学(専門演習)	発達心理学(専門演習)		
5					
6					

様々な出自の人  
あらゆる話題について、  
常に「議論」できます!

ゼミでは、自分の関心  
のあるテーマについて  
専門的な部分まで  
学ぶことができるので、  
とても楽しいです。

先生と学生、学生同士の距離が近く、  
アットホームな雰囲気の中で議論が展開  
できて、とても楽しく勉強になります。  
佐竹 那希 3年生

### 北海道大学教育学部独自のプログラム

北海道大学教育学部には、教育学部海外短期セミナー派遣支援制度、  
北海道内の地域交流プログラムがあります。→詳しくは、p.15-16に



国際プログラムに参加して、日本に  
いると気づけない、日本の教育の良い  
点・問題点を、外から見つめることが  
できたのが良かったです。

高岡 伶丞 3年生



## どうして北海道大学教育学部へ?

橋 あぐり・3年生(富山県)総合入試文系

ひとを支える仕事に就きたいと考えて  
おり、特に心理学を学びたいと思ったから。  
部活の先輩に教育学部が多かったのも  
理由の一つです(笑)



中溝 颯真・3年生(兵庫県)編入

教師になるよりも教育社会学(大学進学  
における教育格差)の研究をしたいと  
いう思いがあり、教員養成系の大学  
から編入しました。



中山 実優・3年生(札幌市)学部別後期

キャンパスの雰囲気が好きだったことと、  
研究したいと思っていたことに近い内容  
を卒業論文で執筆されていた方がいらっ  
しゃったからです。



林 啓樹・3年生(東京都)学部別後期

幼少期に旅行で訪れてから、ずっと  
「北海道」に住むことに憧れがあった  
ため。また、「教育学」を学びたかっ  
たため。



佐竹 那希・3年生(札幌市)学部別前期

児童虐待や少年犯罪、不登校やヤング  
ケアラーなど、子どもに関する社会の  
問題について学びたいと思ったから。



高岡 伶丞・3年生(千葉県)学部別後期

北海道大学は地元から遠い街で  
暮らしてみたいからで、教育学部  
は自分が受けた日本の学校教育の現状  
について疑問を感じたからです。



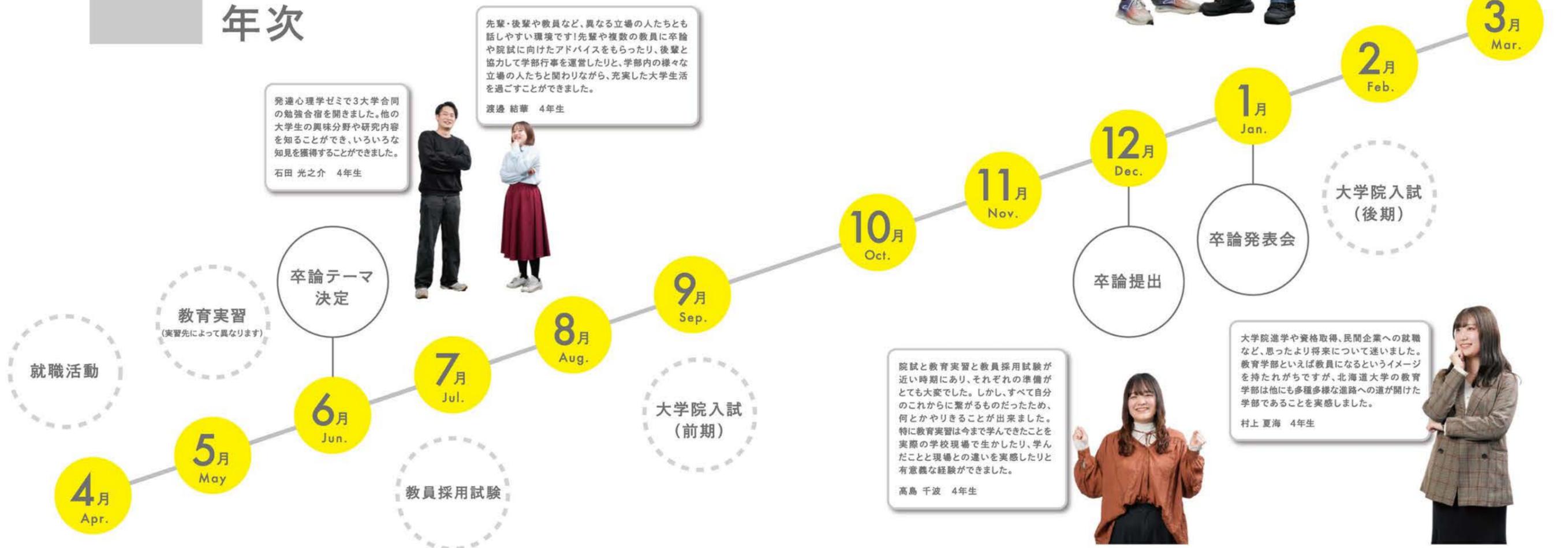
## 集大成の1年間

卒業論文に取り組みます！

### 卒業論文

教育学部では卒業論文が重視されます。問題意識の設定、先行研究の検討、研究課題の明確化、資料やデータの収集、論文の執筆、完成した論文の発表まで、学生が指導教員の示唆を得ながら、自らの力でやり遂げることを基本にしています。論文の発表は、学部の構成員全てに公開される形で行われます。論文発表までの道のりは平坦ではありませんが、その過程で大きな力を身につけていきます。

## 年次



私の卒業論文では学校に対して調査を行う必要があったため、調査の申し入れや日程調整の部分で苦労しました。しかし、さまざまな方と調整することでスケジュール管理や他者と調整する能力の部分では成長できたと感じます。  
尾田 碧亜 4年生



大学院入試の準備では大学院生の先輩方に色々サポートをしていただき、自分の関心をより明確化していきました。精神的にもすごく助けられました！  
原田 誠史 4年生

今の社会で一番大切なのは教育じゃないかな

発達心理学ゼミで3大学合同の勉強会を開きました。他の大学生の興味分野や研究内容を知ることができ、いろいろな知見を獲得することができました。  
石田 光之介 4年生



先輩・後輩や教員など、異なる立場の人たちとも話しやすい環境です！先輩や複数の教員に卒論や院試に向けたアドバイスをもらったり、後輩と協力して学部行事を運営したりと、学部内の様々な立場の人たちと関わりながら、充実した大学生活を過ごすことができました。  
渡邊 結華 4年生

院試と教育実習と教員採用試験が近い時期にあり、それぞれの準備がとて大変でした。しかし、すべて自分のこれからの繋がるものだったため、何とかやりきることが出来ました。特に教育実習は今まで学んできたことを実際の学校現場で生かしたり、学んだことと現場との違いを実感したりと有意義な経験ができました。  
高島 千波 4年生



大学院進学や資格取得、民間企業への就職など、思ったより将来について迷いました。教育学部といえば教員になるというイメージを持たれがちですが、北海道大学の教育学部は他にも多種多様な進路への道が開けた学部であることを実感しました。  
村上 夏海 4年生



## どうして北海道大学教育学部へ？

渡邊 結華・4年生(埼玉県)転部  
教育学部で言語や文学について学んでいましたが、「人が言葉を使い、味わうこと」の方に関心が移り、教育心理学を学べる教育学部へ転部しました。



原田 誠史・4年生(新潟県)学部別前期  
自身が地方部出身で、都市との教育の情報格差や学力格差を感じてきて、教育のことについてより深く考えたいと思ったから。



尾田 碧亜・4年生(福岡県)編入  
自分が受けてきた教育がどう成立して、どのような政策/制度の中で活用されてきたか知りたいと感じたため。



村上 夏海・4年生(東京都)総合入試文系  
臨床心理学、特に発達障害のある人への教育や支援についてずっと興味があり、ここなら重点的に学べると思ったので関東から北海道大学への進学を決めました。



石田 光之介・4年生(石川県)編入  
高専で学校を中心とした都市計画の研究を行いました。研究過程で児童生徒の心理面について研究したいと思い、北海道大学教育学部へ！



高島 千波・4年生(札幌市)学部別後期  
身近な人が進学していて、憧れだったから。また、「教育」について自分で考える力を身につけたかったから。





## 北海道の森の中で 身体存在から世界を「みつめる」

身体文化論 池田 恵子



前ヴィクトリア時代のスポーツ史に関する貴重本、原書など



森と一体となる授業(2023年 余市エコビレッジ)

### 心身二元論の脱構築、脈動する自然、森への回帰

近代社会は操作概念上、心と身体を区別する心身二元論に陥りがちですが、ニーチェが「身体は精神の道具ではなく、精神が身体の道具だ」と挑戦的な比喻を用いたように、そしてコロナ禍で多くの人が気づいたように、人間存在とは思考する身体そのものであるということが、私が取り組んでいる身体文化論のテーマです。スポーツや体育に限らず、どのような事象も身体存在を通じたパースペクティブから捉え直すことではじめて、近代の臆説を相対化し、歪みのないレンズで世界を見ることができると考えています。

この前提をわかりやすく言えば、オンライン化やAI、Chat GPTの時代になっても、ヘンリー・ディヴィッド・ソローの哲学の通り、「人は元来森から来たのだ」ということ、林間学校教育は科学と文学双方の生みの親であり、その中でもとりわけ「歩く」という行為は逍遥学派に代表されるような知的活動であることを授業で伝えています。実際、物理的な移動が困難だった時期を経験したポストコロナの学生たちはスポーツや森に対する関心がかつてより研ぎ澄まされ、その源泉を探っていくとまさに人とは身体存在であるという私の話に共感する傾向が増したように感じています。

### 森林面積日本一の北海道で考える身体文化論

私自身は学部卒業後、社会科の教員免許に加えて、保健体育の教員免許を取得し、英国文化の歴史に興味があったことから、これらのすべてをひとつにしたような前ヴィクトリア時代のイギリススポーツ史をテーマに博士論文を書きました。そのような自身の狭い専門で講義することはあまりなく、どのようなテーマも魅力的なものだと考えていますが、「身体というパースペクティブ」に根づいた未来志向の創造性を奨励しています。

しかも、私たちが自然との共生や健やかなスローライフをどう築いていくかについて考えるとき、森林面積が日本一の北海道には、身体文化論の肥やしとなる自然環境が広がっています。北海道各地で展開されるウィンタースポーツのスキーやカーリング、あるいはウォーキングの歴史は北海道の地方の問題だけでなく、日本の将来的なビジョンを描く上で、多くの課題と可能性を胚胎しているように思います。学生時代から実感を伴ってビジョンを描けることこそ、北海道大学ならではの強みではないかと考えています。



## 教育を社会現象の一つとして捉え 複眼的な視点で位置づける

教育社会学 上山 浩次郎



分析することで格差の問題が見えてくる



アンケートを使った調査を行うことも

### 教育機会の格差論の基盤となる指標研究

北海道大学の教育社会学はもともと地域社会学的な志向もあったことから教育学部がある札幌のみならず北海道・全国の各地に目を向けた研究を目指しています。私の専門は教育機会の格差・不平等であり、どんなに頑張ったとしても本人の努力だけではどうにもならないもの、例えば性別や親の職業、家庭の経済的な理由などの属性や地域性が相互に関連しあってどのように教育機会の格差を生み出しているのかを、アンケート調査や統計資料の二次分析を通して見出そうとしています。

格差やそれに関する政策を語る際に私が特に意識していることは、格差をどう捉えるか。同じ統計資料を分析したとしても、異なる格差の捉え方(=格差指標)に基づけば導き出される現状評価が異なります。それゆえ、格差の捉え方に関する研究は、格差論の基盤となるともいえます。こうした考察は、行政や教育者などの実践家とは異なる立場の研究者だからこそ取り組める分野です。研究者が行える社会貢献の一つのあり方になりうるのではないかと考えています。

### 現実から学び、生活を意識する

高校まで体育が好きで、体育教師かスポーツライターの道もあるかもしれないと思い、本学の教育学部に入学しました。私の学生時代は皆さんのお手本になるようなものでは到底ありませんでしたが、今思うと同級生と哲学の本を読んだり、他の専門分野も含め先輩・後輩たちと自主ゼミをするなど少人数制ならではの“タテ・ヨコ・ナナメのつながり”で育まれる学びに没頭した日々でした。

今は皆さんに身近な媒体は本よりSNSかもしれませんが、どの媒体を用いたとしてもそれを読むこと自体が目的ではなく、それを通して現実を知る、現実から学び、日常生活を意識するという姿勢を大切にしたいと考えています。社会は実にさまざまな要素が交錯し、それらの影響が結実して成り立っています。教育も社会現象の一つであり、広い文脈上に位置づける複眼的な視点が求められます。そうした視点を誰かが持っているれば、教育現場や社会に役立つことも出てくるのではないかと。そしてその誰かとは、微力ながらも自分が引き受けている責務ではないかと。そんな風に考えながら研究に取り組んでいます。

Connect with the world

# 世界とつながる

北海道大学教育学部では、2024年より教育学部海外短期セミナー派遣支援制度を設けています。これは海外の大学での教育学に関連する短期セミナーについて、教育学部生を対象に渡航に必要な費用の一部を支援するものです。セミナーでの単位が認定されれば、教育学部の教育学国際講義の単位として読み替えられます。2024年8月5日～16日には、東フィンランド大学(ヨーエンス・キャンパス)にて「Education in Diverse Culture」のセミナーが開催されました。北海道大学教育学部からは、教育学部生2名が参加しました。世界各地から集まった学生とともに、講義、ワークショップ、パネルディスカッションなどを行い、教育現場での多様性の根底にある概念と視点を理解してゆきました。



## 教育学部海外短期セミナー派遣支援制度利用者の声



2024年、東フィンランド大学のサマーセミナーに参加し、多様性教育の理論と実践を学びました。フィンランドと日本の教育比較では、地域や経済格差を考慮した公平な教育制度や、高い水準の教師教育に基づく教育現場の質の高さを学びました。また、多様性に関するテーマでは、文化・言語・個別ニーズへの配慮が教育において重要であることを体感しました。特に、心理的安全性が学びに与える影響を実践的に理解し、他国籍の子どもへの配慮の必要性を実感しました。今後は教育系企業での業務を通じ、ALTの適応支援や学校との連携促進に尽力し、多様性理解と知見を活かした教育支援を目指します。このセミナーで得た経験と学びは、自身の成長と社会貢献の糧となりました。(黒住 泰良)



私は2024年8月、東フィンランド大学のサマースクール「Education in Diverse Cultures」に参加し、多様なアイデンティティを尊重する教育について学びました。特に「Linguistically Responsive Pedagogy」に触れ、言語が文化や社会、教育に与える影響の重要性を実感しました。また、異なる言語環境での授業を体験し、言語的障壁を乗り越える工夫の大切さを学びました。英語での議論を通じ、自分の考えや文化を伝える難しさを体感し、アイデンティティを尊重する教育の意義を深く理解しました。これを踏まえ、今後は「生きるための学び」と「より良い教育の実現」を意識して研究や教育実践に取り組み、多様性を尊重し合う社会の構築に貢献したいと考えています。(伊藤 愛沙子)

Connect with the community

# 地域とつながる

## 北海道内の地域との交流

北海道大学教育学部は、北海道内の二つの自治体と連携協定を結んで交流しています。ひとつは流氷が接岸することで知られる北海道のオホーツク海沿岸に位置する湧別町、もうひとつはオホーツク海から約25km内陸に位置する西興部村です。新型コロナウイルス感染症が拡大したときには、教育学部の学生も辛くて苦しい状況におかれましたが、二つの自治体それぞれから、地域の特産品の玉ねぎや保存食をはじめとした多くの食料支援をいただきました。



## 北海道紋別郡湧別町

湧別町は、サロマ湖で育つホタテや、200種類70万本のチューリップが美しい「ゆうべつチューリップフェア」で知られる町です。湧別町では、少子化が進むなかでより良い教育を提供するために小中一貫教育を進めていて、9年制の義務教育学校を開校しています。教育学部の調査実習の授業では、特色ある教育の取り組みがなされる背景を知るために、3年生の学生が湧別町を訪問しました。そして湧別町教育委員会や、小中学校教育を接続した9年制の義務教育学校で聞き取り調査を行い、成果を報告書にまとめました。



## 北海道紋別郡西興部村

西興部村は酪農が盛んで、ギターのボディを製造する工場があることで知られます。村のイメージキャラクターは、ギターを抱えた牛の「セトウシくん」です。毎年夏休みには、教育学部の学生が西興部村を訪問し、西興部中学校に通う生徒さんの学びを支援する「夏の学習会」を行っています。「夏の学習会」では、中学生の皆さんの学習サポートを行うほか、視野を広げるきっかけ作りとして、大学生が中学生の頃の自分や今の大学生活を語ります。教育学部の学生にとっても、地域の中学生との交流は、とても貴重な気付きを与えてくれる体験となっています。



# Introduction to Courses:

## 各ゼミ紹介

Fundamental Theories of Education  
 Social Sciences of Education  
 Educational Psychology  
 Sciences of Health and Physical Education

## 教育基礎論分野

“学び”の革新。“教え”と“育ち”の相互関連。  
 人々の成長を支えるしくみを探求する。

### 教育思想 担当教員：白水 浩信

教育について語ることは、いかにして可能か？

西洋の教育思想史をひもとくとき、一口に「教育」と言っても、education, instruction, discipline, formation等、様々な語彙があります。古代から近代にいたる教育言説の軌跡を語彙基板の変遷という観点から、いつ、誰が、どのような文脈で語ったのかということについて研究しています。



#### ●卒業論文テーマ：

「(祭典)装置としての(公教育)ーカバニス『公教育論』第二章の分析を中心に」  
 「西欧教育思想における(修練)の系譜学ーカッシアヌスからイエズス会まで」  
 「メトリー感化院の「家族制度」ーフレデリック＝オーギュスト・ドゥメツの家族観」



### 教育史 担当教員：北村 嘉恵

教育の「常識」のラディカルな問い直し

たとえば「現代教育の病理」とされる現象について、処方箋を急ぐよりは、教育の生理現象のひとつとして、時間的・空間的に視野を広げて捉え直してみたい。異なる時代・地域の側面を視点を置くことができれば、自分の日常や問題状況もこれまでと違って見えてくるはず。悠長な遠回りのようですが、ラディカルな問い直しにつながります。



#### ●卒業論文テーマ：

「近代日本の漢字論ー山下秀太郎における『国字改良』運動」  
 「幕末維新期の服装改革と『男らしさ』の再編成」  
 「近代日本における読書行為ー新聞小説と読者」

### 学校史 担当教員：近藤 健一郎

教育・学校について歴史的視点から考える

6歳になったら小学校に入学するということから始まる、疑われない教育・学校の「常識」に私たちは囲まれていて、そこから自由になるのは容易ではありません。だからこそ、教育の現状を理解し、「問題」の根源に立ち返り未来を展望する方法として、教育・学校を歴史的に学ぼうとしています。



#### ●卒業論文テーマ：

「『障害児教育』の歴史的変遷」  
 「戦前北海道における小学校教員養成の実態」  
 「アイヌの通った学校について」



今も残る「奉安殿」(沖縄県豊後小学校)。中には何が入っていたのでしょうか。

### 教育行政学 担当教員：横井 敏郎

子ども・若者の学びと成長を支える教育行政・制度を探る

子ども・若者の学びと成長を保障するには十分な教育環境が必要です。本研究室では教育機会を保障する公教育制度のあり方、教員確保や学校配置などの教育条件と地域格差、分権改革下における地方教育行政の構造変化、平等・公正・差異などの規範的価値などについて現場調査、法制度・政策分析、概念分析、国際比較の方法で研究しています。



#### ●卒業論文テーマ：

「公立夜間中学の設置過程における地方政治の役割に関する実証研究：自主夜間中学団体の働きかけと札幌市議会における議論に注目して」  
 「改正教育基本法第2条『教育の目標』第1号の理念とその制定経緯の研究」  
 「北海道における小規模高校の教職員配置に関する研究：地域連携校を含む1間口校に注目して」に注目して」



### 学校経営論 担当教員：篠原 岳司

教育を受ける権利を保障する学校とは？  
 その法と制度、組織、統治、経営を問い直す

現代社会において、学校教育は私たち個人の成長発達に強い影響力を有しています。しかし、学校教育には様々な課題も指摘されています。学校が個人の自由権を侵害せず、すべての学習者の願いに応え、それぞれの教育を受ける権利を保障するためには、学校教育に関わる法と制度、人と組織、そして統治と経営の現実を問い直し、より良い学校のあり方・創り方を追究することが必要です。



#### ●卒業論文テーマ：

「国際バカロレア教育の日本での導入・実施に関する研究ー高等学校におけるデュアルランゲージ・ディプロマ・プログラムの実施課題ー」  
 「住民の学校参加に関わる教育法学説の批判的検討ー今橋盛勝の『住民の教育権』理論を中心にー」  
 「教育課程編成における生徒の実情に応じた弾力性ー夜間中学における年齢超過者への『特別的教育課程』を対象にー」



北海道天光高等学校の訪問調査時(教育基礎論調査実習)

### 教育方法学

教授学を探究しよう！学ぶ楽しさを明らかにしよう！

言語教育(外国語としての英語の教育、文学教育を含めた国語教育)や社会認識教育(歴史教育、狭義の公民教育など)を中心に上げています。教科の教育内容を、照応する学問の研究成果を踏まえて抽出する方法の点から、「学問の学問」としての教授学をいかにして建設するかを探究しています。



担当教員：大竹 政美



#### ●卒業論文テーマ：

「光の直進性に着目した中学校段階における光の学習」  
 「『翻案小説としての太宰治『走れメロス』の読みの指導』  
 「中学校社会科公民的分野における社会的選択の指導に関する教材構成」

## 教師教育制度論 担当教員：張揚

教員の生涯発達とそれを支える教師教育をグローバルな視点から見る

教師教育が教師発達をもたらす、教師発達は教師教育のなかで実現します。教師教育制度論は教員養成と現職教育に関する制度や政策のみ探究するのではなく、教師個人の変化にも注目します。とりわけ、教師の質の向上に焦点を当て、教師が教職生涯にわたって継続的に力量成長を遂げるという視点から教師教育の在り方を問います。



●卒業論文テーマ：  
「男性教員の育児休業取得への影響要因に関する研究-大阪府立高等学校関係者へのインタビュー調査に基づいて」

## 教育社会科学分野

個人の成長、地域の発展。  
社会システムとしての“教育”を捉える。

## 教育社会学 担当教員：上山 浩次郎

教育と社会の関連を解明する

教育と社会の関連を、特に教育と社会的不平等に注目して社会的な立場から考えていくことが目標です。その際に、社会調査実践に基づきながらも理論的な研究となるよう努めることも目指しています。一緒に学びましょう。



●卒業論文テーマ：  
「教育社会学における性内分化研究の現状と課題」「エラブの若者たち～離島の高校生へのインタビュー・フィールドワーク調査を基に～」  
「高等学校における配信センターを用いた遠隔授業の現状と課題」

## 産業教育 担当教員：上原 慎一

働くことと学ぶこと この関連の全体像に迫る

いままで、たくさんの会社・工場・学校の調査をしてきました。働くことと学ぶことは、社会の深いところで、強く結びついていると日々実感しています。



●卒業論文テーマ：  
「公共職業訓練における女性の技能習得過程に関する一考察」「中国工業団地における日系中小企業の経営管理」「高校中退者の労働実態と経済的自立の可能性に関する一考察」

## 職業能力形成論 担当教員：駒川 智子

職場のジェンダー平等を求めて  
企業の人材育成に切り込む

社会の「男は仕事、女は家庭」という性別役割分業のもとで、日本企業では男性と女性のキャリア形成が大きく異なります。企業の労働内容、能力形成、評価、仕事と家庭の両立支援等について考察し、公正でやりがいのある職場づくりを探求しています。



埼玉大学とのインターゼミ「大学生の基礎知識としてのワークルール」の報告会

●卒業論文テーマ：  
「事業承継の新たな形一銭湯からサウナへの転換事例より」「幼保連携型認定こども園における保育者の労働一教育理念を手掛かりに」「地方圏の中学生の将来の居住地選択に関する一考察一進学を契機とした地元志向とキャリア志向の分岐に着目して」

## 社会教育学 担当教員：吉田 弥生

地域や社会での学び、大人の学びを探究する

皆さんは、家庭や学校以外の場所でも、色々な人と出会い、様々な経験をして「自分が成長した／変化した！」と感じたことはありませんか？  
学びの場や機会は、学校だけにとどまりません。自分らしく生きていくため、よりよい社会を創るための学習とはいかなるものか、一緒に考えてみませんか？



●卒業論文テーマ：  
地域団体やNPO・市民団体のフィールドワークに興味がある方、社会的課題と格闘している現場から学びたい方、大人や高齢者の学習活動とその支援のあり方に興味がある方を歓迎します。

## 教育福祉論

貧困・不平等に関する研究を通して  
教育と福祉のあり方を考える

貧困が人の暮らしや命をどのように傷つけるのか、またそれを和らげるためにはどんな制度や援助が必要なのかという問いを抱きながら、国内外で調査研究をしています。教育学部に貧困を研究するゼミがあるのは意外に思われるかもしれませんが、教育学部で貧困について学ぶ意味も皆さんと一緒に議論できればと思っています。



担当教員：佐々木 宏

家族の中のお金＝家計の問題（教育費負担や各種支払いの滞り問題など）について実証的に明らかにし、こうした家計の問題と貧困との関係について考える研究を行っています。



担当教員：鳥山 まどか



●卒業論文テーマ：  
「知的障害のある女性の結婚・出産・育児」「貧困家族の子どもに対する学習支援活動の機能」「プロアスリートの生活と再就職」「子どもの貧困に対する教員の認識」

## 青年期教育論 担当教員：辻 智子

多様な実践から青年期と教育を問う

青年・若者に向けられる世の中の関心は社会のありようを映し出します。それらの関心とそれをめぐる動向を対象化しつつ、また具体的な地域実践なども手がかりとしながら、「人が育つこと」「大人になること」の様相をとらえ青年期の教育について考えます。教育・労働・福祉の相互の重なりやジェンダー／セクシュアリティの視点も大事にしています。



教育社会科学調査実習(2022年度)

●卒業論文テーマ：  
「地方に生きる若者の居住の経緯と生活に対する現状認識」「『自己語り』と『語られる自己』に関する検討」「地域と協働した学びの場における解放機能」

## 高等継続教育 担当教員：光本 滋

自身にとっての意味と必要、他者にとっての  
価値をつなぐ大学・学問の創造

大学で学ぶことは、大学と学問をつくる主体になることです。国内国外、過去から現在までの人びとの工夫と努力、そして失敗を含む経験に学びながら学問・教育の自由と自治の課題についてともに考えていきましょう。



●卒業論文テーマ：  
「学生生活費と奨学金」「平和教育論の考察」「W.S.クラークの教育理念・実践一マサチューセッツ農科大学から札幌基督教圏誕生までの教育活動について」

私の専門は、社会教育学ですがNPOや協同組合などを対象に、地域で福祉活動を担う人々の協同活動を通しての学びをテーマとしています。現代社会の縮図である地域で、一緒にフィールドワークしましょう！

教育社会科学分野 助手：丸山 美貴子



# 教育心理学分野

乳幼児から青年、成人に至るまで。  
心の領域から“育つ”ことを探求する。

## 視覚認知過程論 担当教員：河西 哲子

「一瞬」の心の働きを科学する

世界の事物や事象はどのように脳で処理され、瞬時に認識されるのでしょうか。またその過程は心身の状態や発達、学習によってどう変わるのでしょうか。実験心理学や心理生理学の方法論を学びながら、心の不思議を考えてみませんか。



●卒業論文テーマ：  
「グローバル・ローカル水準間の注意シフトの検討」「肯定的・否定的感情状態が認知に及ぼす選択的影響」「事象関連電位を用いた視覚的群化の検討」

## 学習神経心理学 担当教員：関 あゆみ

脳機能の視点から  
子どもの「学び」を考える

「読む」「書く」「計算する」などが、どうしてもうまくいかない子ども達があります。息けているだけでも能力がないのではなく、学び方＝脳の使い方が他の人と少し違うのです。学習のつまづきを脳機能の視点からとらえることで、支援法について考えてみましょう。



●卒業論文テーマ：  
「運動イメージ能力の個人差が空書効果に与える影響—運動観察イメージ能力に着目して—」「第二言語の音楽認識に指導法の違いが与える影響」「書字に困難を抱える中学生にとってのノートテイキング代替手段を有効な学習法とするために—」

## 認知・動機づけ論 担当教員：大谷 和夫

社会的に構築される学習動機づけの探求

動機づけは「やる気」の学術用語で、人の行動を理解する上での重要なキーワードです。本研究では、教育心理学、認知心理学、パーソナリティ心理学の手法に基づき、動機づけの個人差やそれを規定する要因、そして動機づけが何を予測するのかを児童・生徒の社会的文脈（学級風土など）に注目しながら探求しています。また、メタ認知など学習をより高次なものにする思考についても研究しています。



●卒業論文テーマ：  
「洞察問題における協同的問題解決の検討」「隣の芝生は青く見える感情の探求的検討」「自伝的記憶の想起がアナグラム課題の取り組みに及ぼす影響」

ゼミの様子

## 発達心理学 担当教員：加藤 弘通

問題のなかに発達の可能性をみる

私たちの研究室では、非行やいじめ、不登校、ひきこもり、自傷行為といった「問題」から思春期の発達について考えています。問題＝悪ものと考え、単にその解消を目指すのではなく、様々な「問題を可能にしている思春期の発達とはなにか?」ということを解明することが目標です。



夏合宿の様子

●卒業論文テーマ：  
「友人関係における自己開示抑制について」「青年期における競技スポーツ世界への参入が発達に与える影響」「将来の夢を持っていないことをポジティブに捉える」「思春期における自我体験の特徴と人格形成の因果関係についての考察」「青年期におけるナメの大人が与える影響」「青年期における重要な他者との信頼関係構築による関係性の再体制化」「プランニング方略が動機づけに及ぼす影響」

## 乳幼児発達論 担当教員：川田 学

子どもの発達と  
保育・教育実践との関係をさぐる

人生のはじまりである乳幼児期の発達を、家庭や保育園・幼稚園といった実践の現場と切り離さないで研究するには何が必要でしょうか。子どもの発達を解明したい人、保育や幼児教育の実践を思索したい人、親や保育者や子育て支援者の話がききたい人、一緒に学びましょう。



発達系ゼミの夏合宿の様子

●卒業論文テーマ：  
「5歳児の協同的な遊びの展開と子ども間の教示行為の関連性」「保護者と共に保育園を運営するということ：園づくりを通して成長する大人たち」「子育て支援資源へのアクセスの現状と課題：第一子を育てる母親に焦点を当てて」

## 言語発達論 担当教員：伊藤 崇

子どもの生活を言語という観点からとらえなおす

家庭や幼稚園、小学校などで、子どもが周囲の人々で行うコミュニケーションを研究しています。例えば、親子の何気ない会話の中には、子どもが言葉の使い方を身につける上で重要な秘密が眠っています。その秘密を解き明かすのがこのゼミの最終的な目標です。



●卒業論文テーマ：  
「母子関係と相互の呼称の関連性についての考察」「中学生における成績非開示傾向を及ぼす要因の検討：自己評価・他者評価予測・評価懸念に注目して」「呈示情報への色による強調が情報源に関する記憶に及ぼす影響」

## 特殊教育・臨床心理学 担当教員：安達 潤

認知心理学・臨床心理学の視点から  
知的障害・発達障害の人たちの理解と  
支援を考える

一般の子ども達と物の捉え方（認知）が違うために、場の空気が読めなかったり、他者との関わりや計画的な作業が苦手だったりする子ども達もいます。その困難さは彼らの心理的育ちに暗い影を落とすこともあります。彼らが眺める世界を理解し、彼らの体験に配慮した支援を一緒に考えてみませんか。



●卒業論文テーマ：  
「算数文章題において困難を示す児童への学習支援の実践と検討」「自閉症スペクトラム障害者に対する集団での自己認知支援の実践と検討」「知的障害を伴うASD児への要求行動形成のための支援」

## 発達臨床論 担当教員：岡田 智

子どもの成長や適応を支える  
発達臨床実践へ

学校生活や対人関係上での不適応や、発達面でのアンバランスを抱えている幼児、児童、青年の理解と支援の方法について関心があります。発達臨床論ゼミでは、このような状況にある子どもや青年に関する心理や支援方法について学び、それぞれの学生の興味・関心に沿って、文献研究、調査研究、事例研究、実践研究などに取り組んでいきます。



●卒業論文テーマ：  
「自閉症スペクトラムのある子どもの社会的動機づけ—日本語版 Social Motivation Interviewによる測定の試み—」「発達障害のある幼児における集団遊びの発達の意義に関する検討」「ASDのある母親の子育ての困難と強みに関する研究」

## 教育臨床心理学 担当教員：渡邊 誠

隠れた必要性に目を向けて

心理的な問題を抱える、主に青年期以降の人たちに対して、臨床心理学的な援助の実践と研究をしています。特に、高等教育機関における学生相談、セクシャルマイノリティ支援、および犯罪被害や虐待などによるトラウマの支援に興味があります。



●卒業論文テーマ：  
「過去の自分とのロールレタリングがもたらす心理的効果の検証」「『里子であること』はどのように経験されるのか—里親家庭で過ごしたaさんの語りを中心に—」「オンラインコミュニティにおけるコミュニティ感覚がメンタルヘルスに与える影響」

## 障害者臨床心理学 担当教員：松田 康子

当事者に学び障害を抱えて  
生き抜くことへの助力を考える

ケアの場における他とはどのような営みでしょうか。精神障害を抱える人にとって、地域で暮らすこと、学業に動むこと、生き抜くことへの助力とはどのようなことでしょうか。答えは一つではありません。個人の関わりから環境にまで視野を広げ、一緒に考えていきましょう。



ゼミ合宿調査写真集より

●卒業論文テーマ：  
「内なる他者の声を聴くこと：応答責任としての自己再帰的考察」「経験を共有するとはいかなることか」「『もやもやした気持ち』の扱いにくさ—心理職を目指していた学生との語り合いから—」「【一緒にいる】と思わせる感覚についての一考察」

## 福祉臨床心理学 担当教員：井出 智博

生きづらさを抱える子どもや若者の  
暮らしと育ちを支える

児童虐待や喪失体験、機能不全を抱える家族との生活、被災や被害体験など生い立ちの中で困難を経験してきた子どもや若者に対する心理的、福祉的支援に関する実践、研究に取り組んでいます。またそうした困難さの否定的影響だけではなく、困難を乗り越えることの心理的成長についても注目して取り組んでいます。



ゼミの様子

●卒業論文テーマ：  
「自立援助ホームにおける主体的な自立をめぐる現状と課題の探求」「『学校不適応』経験のある生徒の道内地方小規模高校における『学校適応』の要因の検討」「カミングアウトの『受容』アプローチ」

私は現在、大学生のメンタルヘルス支援に向けて、大学生の強迫的な行動（手洗い行動や確認行動の過剰な繰り返し）に関する臨床心理学的理解と支援について実践・研究を行っています。様々な悩みを抱えている方々の理解や支援について、一緒に学びましょう！

教育心理学分野 助教：指方 賢太



# 健康体育学分野

身体の可能性。健康の意味。  
人間の可能性を身体から探る。

## 身体文化論 担当教員：池田 恵子

スポーツ文化をバックグラウンドから炙り出す

ヨーロッパを中心に13か国以上の国を訪れて、スポーツ文化のルーツについて考えてきました。2度にわたるイギリスでの長期滞在が教育研究上の自らの関心を刺激し続けています。



●卒業論文テーマ：  
「H・オルゲン『英国のスポーツ』(1821)にみる狩猟の意義に関する研究」「アマースト大学方式の導入と近代体育-札幌農学校から北海道帝国大学予科を中心に-」「ナディア・コマネチの半生に、社会主義国家のスポーツ制度が与えた影響に関する研究」

## 体育方法 担当教員：崎田 嘉寛

「速く走りたい!」という  
子どもの素朴な希望に寄り添いたい

スポーツや運動は大好きだったけど、学校の体育の授業は苦手だった経験が、研究を志したきっかけです。学校に限らず、スポーツ現場、社会や家庭での体育的な事象、そしてこれらに携わる人たち、すべてを対象にさまざまな方法を駆使して調査や研究をしています。からだを動かすことが得意でない人こそ歓迎します。



●卒業論文テーマ：  
「日本の高校運動部活動における非選手教育に関する一考察:『マネージャー』に着目して」「運動部活動における非レギュラー選手の競技意欲に関する研究:集団目標への関与に着目して」「児童の規範的行動を誘起する運動実践に関する研究:異学年集団を対象として」

## 身体運動支援システム論 担当教員：阿部 匡樹

身体を動かすその不思議に迫り、  
支える仕組みを考える

ヒトの知覚-運動システムの仕組みには驚かされるばかりで、飽きることがありません。イグノーベル賞のように「人々を笑わせ、そして考えさせてくれる」研究が目標です。



身体や運動、知覚、意思決定などに関して、日常やスポーツなど様々な場面での疑問に思うことを実験的に検証していきたいと思っています。

●卒業論文テーマ：  
「経頭蓋交流電気刺激が他者協調に与える影響」「二人協力課題における誤差修正と認知バイアス」「VR環境を用いた運動学習」

## 福祉スポーツ論 担当教員：山崎 貴史

スポーツと障害のある身体を考える

障害者スポーツを研究しています。スポーツを研究するというと、スポーツを通して「できるようになること」を中心に考えます。しかし、このゼミでは障害のある「できない」身体の大変さや創造性から、スポーツや私たちの身体のあり様をもっと自由に考えてみたいと思います。



●卒業論文テーマ：  
「身体に障害のある人の弓道実践」「ヤンキーと部活」

## 運動生理学 担当教員：柚木 孝敬

身体運動の理解から  
体育やスポーツについて考える

本研究室では、身体運動の仕組みを主として生理学的方法を用いて研究しています。身体運動の発現や持続を支えるメカニズム、運動パフォーマンス、疲労などが研究の対象です。このような研究を通して、体育やトレーニング、スポーツのあり方について考えてみませんか。運動やスポーツに興味のある方は、運動生理学実験室を訪ねてください。



●卒業論文テーマ：  
「筋運動感覚残効が力調節に及ぼす影響」「ウォーミングアップが高強度走行運動時の呼吸困難感と脚疲労感に及ぼす影響」「暑熱環境下の温度知覚が自転車運動中の主観的運動強度およびペース配分に及ぼす影響」

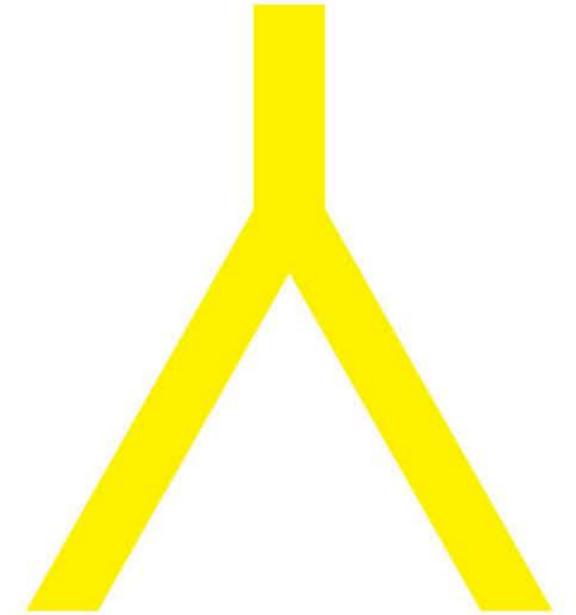
## 生活健康学 担当教員：山仲 勇二郎

生物時計の仕組みを解明し、心身の健康を  
支える生活リズムをデザインする

当研究室では、私たちのからだに備った生物時計の仕組みを追う「時間生物学」を学びます。生物時計は、ヒトの睡眠覚醒・生理機能に約24時間リズムを発生し、昼間に十分活動し、夜間に質のよい睡眠を得られるように体内環境を制御しています。時間生物学、睡眠科学、生理学を基盤に健康について幅広い視点で考えられる人材の育成を目指しています。



●卒業論文テーマ：  
「恒常暗下における周期的な新奇環境暴露はマウス視交叉上核における時計遺伝子 Period1 発現リズムを同調させる」「夜間の短時間運動が睡眠中の生理機能と起床後のHPA系活動に与える影響」「末梢皮膚温の概日リズムと眠気の日内変動の関係性」



# After graduation

## 卒業生の進路

卒業生の進路状況 (2021~2023年度) 卒業生176人中

内訳: 令和3年度/49名 令和4年度/61名 令和5年度/66名

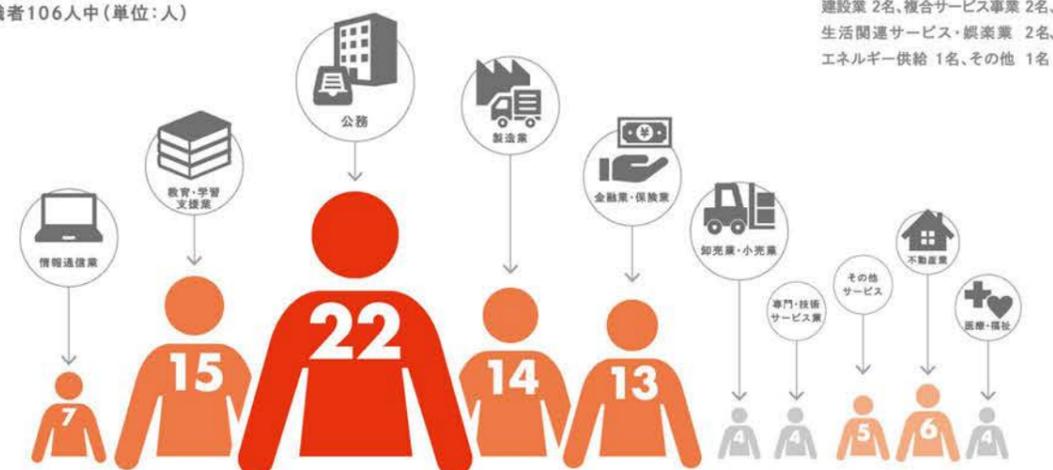


## 就職

employment

産業別就職者数 (2021~2023年度)

就職者106人中(単位:人)



近年の卒業生の主な就職先 (2021~2023年度)

【学校教育】 特別支援学校、北海道公立学校教員、北海道教育委員会、札幌市(中高教員)、札幌市教育委員会【その他の教育、学習支援業】 学習塾、株式会社ウィルウェイ、株式会社進学会、LITALICO、ベネッセコーポレーション、株式会社東進四国、株式会社ダイヤ書房【国家公務】 陸上自衛官、北海道地方更生保護委員会、北海道厚生局、東京税関、札幌高等裁判所、裁判所、法務省保護局(国家総合職)、家庭裁判所調査官補、公正取引委員会、農林水産省、財務省、東京労働局【地方公務】 石川県庁、千葉県庁、釧路市役所、札幌市役所、青森県庁、北海道職員【建設業】 アーストラストエンジニアリング、共同エンジニアリング株式会社【食品・飲料・たばこ・飼料製造業】 日本たばこ産業、日本甜菜製糖株式会社【繊維工業】 東洋紡株式会社【農業、林業】 ホクレン農業協同組合連合会【化学工業、石油・石炭製品製造業】 旭化成株式会社【鉄鋼業、非鉄金属・金属製品製造業】 アルインコ株式会社、JFEスチール、日鉄物産株式会社【電気・情報通信機械器具製造業】 東芝、日本電気株式会社【その他の製造業】 三菱重工業株式会社、ちふれホールディングス株式会社、王子ホールディングス株式会社【電気・ガス・熱供給・水道業】 北海道電力ネットワーク株式会社【輸送用機械器具製造業】 新明和工業【運輸業、郵便業】 小田急電鉄株式会社、ANA新千歳空港株式会社、全日本空輸株式会社 (次ページへ)

(前ページより)

【情報通信業】NTTドコモ、日本IBMデジタルサービス株式会社、日本放送協会、北海道新聞社、富士通株式会社、株式会社  
 シイエヌエス、NTT東日本、フューチャー株式会社【卸売業】伊藤忠商事【小売業】株式会社ネクステージ、株式会社ニトリ、  
 株式会社六花亭【金融業】富山第一銀行、新生銀行、あおぞら銀行、山口フィナンシャルグループ、三井住友銀行、農林中央  
 金庫、北海道銀行【保険業】三井住友海上火災保険株式会社、全国共済農業協同組合連合会北海道、住友生命、明治安田  
 生命保険相互会社【不動産取引・賃貸・管理業】北海道セキスイハイム株式会社、ユートピアカワムラ、住友林業株式会社、  
 カチタス、三菱地所株式会社【その他の専門・技術サービス業】日本SPセンター、USEN-NEXTHOLDINGS、株式会社  
 プロジェクトカンパニー【生活関連サービス業、娯楽業】株式会社KONAMIグループ、株式会社ニトリホールディングス  
 【医療業、保健衛生】総合メディカル【社会保険・社会福祉・介護事業】県職員、SOMPOケア、ALSOK介護株式会社  
 【複合サービス事業】電通PRコンサルティング【その他サービス】株式会社パソナ、楽天グループ株式会社、ランウェイ・  
 エージェンシー株式会社、ファーストコネク、リンクアンドモチベーション、パーソルキャリア株式会社

## さまざまな場所で社会に貢献する卒業生

学校の教員をはじめ、様々な分野に就職する人、進学する人。  
 教育学部卒業生の進路は多様です。

### 教員

#### 未来をつくる 挑戦と学びの大学生生活

菊池 雄平さん 教育行政ゼミ(2013年度卒業)

勤務先：札幌市立藻岩中学校 教諭

#### 【仕事】

中学3年生の学級担任をしています。授業は社会科を担当しています。サッカー部の顧問でしたが、部員減少  
 による廃部で部活動は担当していません。生徒会役員会の担当として、学校行事の企画や運営を行っています。

大学の進学を考えた時、サッカーを続けたい気持ちと、教員以外の道も視野に入れて大学生活を送りたい  
 と思い、教員になるための勉強だけでなく教育について幅広く学べる、北海道大学教育学部に進学しました。  
 人数の少ない学部だったこともあり、同期だけでなく先輩・後輩とも仲が良く、卒業して10年以上経った  
 今でも多くの人と交流があります。

学生時代は、教育機会の平等に関心があり、卒論は「給付型奨学金制度の展望」についてまとめました。  
 民間企業に就職して経験を積んでから、教職の道に進むことを考え、一度は民間企業への就職活動をし  
 ました。しかし、途中で迷いが生じ、最終的に教員の道を選択。それでも、すぐに札幌で働くのではなく、まずは  
 マレーシアの日本人学校で3年間勤務し、その後札幌市の中学校教員となりました。

仕事を通して子どもたちの変化を見るのは、とても嬉しい瞬間です。卒業後に再会し、いろいろな言葉を  
 かけてもらえるのも大きなやりがいの一つです。教育学部で学んだ制度や理論を直接活かす場面は少ない  
 ですが、北海道大学教育学部で過ごした時間やそこで出会った人との思い出、価値観の変化などを確実に  
 子どもたちに伝えられています。

大学時代は、勉強・ゼミ・部活動・旅行など、すべてを全力でやり切りました。社会人になると時間の自由度  
 は減りますが、大学生活で得た気づきや学びは一生の財産になります。だからこそ、「今までと同じ」ではなく、  
 「新しい」「違う」に挑戦してほしい。私は北海道大学教育学部で過ごした4年間に誇りを持っています。

皆さんも、後悔のない大学生活を送ってください!



### 卒業証書



### 企業

#### 自分の可能性を広げた 学生時代の学びと経験

山本 ゆりみさん 産業教育ゼミ(2013年度卒業)

勤務先：勤務先：オルビス株式会社

PR・ブランドプロモーション部 部長



#### 【仕事】

TVCM、SNS、雑誌、POPUPイベントなどを通じてお客様との接点を作り、ブランドを知り興味をもって  
 いただくための広告施策・PR領域の部署を担当。部門の戦略を立て、メンバーと共に施策を遂行しています。

私は北海道大学の産業教育ゼミで、職場におけるジェンダーに関するテーマで卒論を執筆しました。具体  
 的には、当時まだ珍しかった北海道内で働く12名の女性管理職にインタビューし、彼女たちの専業主婦や家庭  
 生活とのバランス、そして職業意識の変化を考察しました。このテーマに興味を持ったのは、将来の自分を  
 想像したときに、社会で働く女性としてどうあるべきかを考えたからです。

興味があった心理学が学べることで、北海道大学教育学部の生涯を通じて教育を捉えるという点に共感し、  
 入学を決意しました。大学時代の思い出としては、1年生の時に学部のメンバーと焼き鳥を作って販売した  
 学校祭や、卒論を約1年かけて仕上げた経験が特に印象に残っています。

もともと母の姿を見て、漠然と大学卒業後は専業主婦になるイメージを持っていました。そんな私が、学生  
 時代に参加していたファッションやメイクのイベントがきっかけで、「美容を通じて幸せを届けたい」と考える  
 ようになり、化粧品業界に進む決意をしました。新卒では国内大手化粧品メーカーへ就職し、社会人7年目に、  
 PR職としてのキャリアアップを目指し、現在の会社に転職しました。

大学生活は、進路や将来についてじっくり考える貴重な時間です。私は産業教育ゼミで学ぶ中で、職場に  
 おけるジェンダーに関心を持ち、自分で体現する決意に繋がりました。大学での経験は、私の人生に大きな  
 影響を与えています。進路を決めるのはまだ先だと思いかもしませんが、選択肢を広げたり、少し先の自分  
 を考えたりすることが大切です。大学生活を楽しみながら、自分の未来を描いてみてください。

#### 多岐にわたる就職先

卒業生の就職先は多様で、  
 教師を始めとする教育に関わる専門的な職業だけでなく、  
 公務員や一般企業を選ぶ人もいます。最近では、  
 一般企業を選ぶ人が主流になっていて、  
 人材育成を始めとした人事・総務の部門に配属されることが多くなっています。



地域

北海道の子どものための  
よりよい教育のために

櫻田 真妃さん 職業能力形成論ゼミ(2022年度卒業)  
勤務先: 北海道教育庁



「教育と心理学が活かせる仕事がしたい」という思いを抱きながら、北海道大学教育学部に進学しました。もともと心理学に興味がありましたが、両親が教育に携わる仕事をしていての影響もあり、教育学と心理学の両方を学びたいと考えていました。

学部生の時には、中国出身の大学院生の学会発表の日本語推敲を手伝う機会がありました。その経験を通じて、自分の日本語がどのように伝わるのか改めて考え、そして文化の違いも感じる事ができました。

卒業研究では、知的障がいを持つ人とともに働くことについて、就労環境や仕事内容、工夫に着目しました。どのような環境が働きやすいのか、どんな工夫ができるのかを考えながら、より良い雇用のあり方を探りました。この経験は現在、周りの職員の働きやすい環境について考える際にも活かされています。

現在、私は教育現場に繋がる教育行政の仕事に携わっています。北海道の子どもたちにより良い教育を届けるために働くことは、とてもやりがいがあります。自分が受けてきた教育がどのように成り立っているのかを知り、その改善に関われることに大きな意義を感じています。

大学で学んだ教育社会学の視点や、論理的に物事を考える力は、仕事をする上でとても役立っています。教育のあり方が問われる時代だからこそ、多様な視点を持ち、専門的な知識を深めながら成長し続けたいと思っています。

高校生のみなさんには、ぜひ幅広い視点で物事を考えてほしいと思います。それが、自分の興味や将来の仕事につながるはず。私にとって北海道大学教育学部での学びは、一生の財産になりました。みなさんも、自分のやりたいことを見つけてください!

専門職

「誰一人取り残さない社会」を目指して

濱島 慶介さん 教育臨床心理学ゼミ(2021年度卒業)  
勤務先: 法務省 函館保護観察所



「遠い場所で暮らしてみたい」という理由で北海道大学に進学しましたが、入学時点では、自分の興味ははっきりしないままでした。しかし、教育学の授業で「生物学的な存在としてのヒトが人になっていく過程には教育が介在しています。しかし、教育によってどんな人間でも創りだせるわけではありません。」という言葉を聞いたことをきっかけに、教育学部へ進みました。

卒論では、里親のもとで育った方々がどのような経験をし、何を感じてきたのかを研究しました。また、授業やゼミでは「子育てサロン」の見学や「色覚多様性」について学ぶなど、さまざまな分野に触れる機会がありました。さらに、教育学部で代々受け継がれている、中学校や児童館でのボランティア活動にも参加していました。

現在、私は「更生保護」を担う保護観察所で働いています。更生保護は、犯罪や非行を防ぎ、立ち直りを支援する仕組みであり、刑事司法手続のアンカーとして、刑務所や少年院から出所・退院して保護観察を受けている人などが再犯・再非行をしないように指導・支援を行っています。また、更生保護は、私たち職員だけではなく、民間ボランティアである「保護司」や「更生保護女性会員」「BBS会員」「協力雇用主」などとの協働で成り立っており、一つ一つの仕事が安心・安全な地域社会の実現に直結する、とても興味深くやりがいのある仕事だと思います。

私は大学時代の学びや様々な活動から、「先入観を排してそれぞれの人生に敬意と想像力を持って接することの大切さ」を学びました。この姿勢は、更生保護に携わる上で、とても重要だと感じています。最終的には「安心・安全で誰一人取り残さない社会」を実現することが目標ですが、まずは一つ一つの仕事を丁寧にこなし、信頼される職員になることを大切にしています。

北海道大学教育学部での時間は、自分が楽しいと思うこと、ワクワクすることに向き合える貴重な時間でした。みなさんも、ぜひ北海道大学教育学部でリッチな時間を過ごしてください。

更生保護ボランティアの一つである「更生保護女性会」が行うバザーにお邪魔した際の一枚。左端が本人。左から2番目の男性は、同じく更生保護ボランティアの「保護司」。

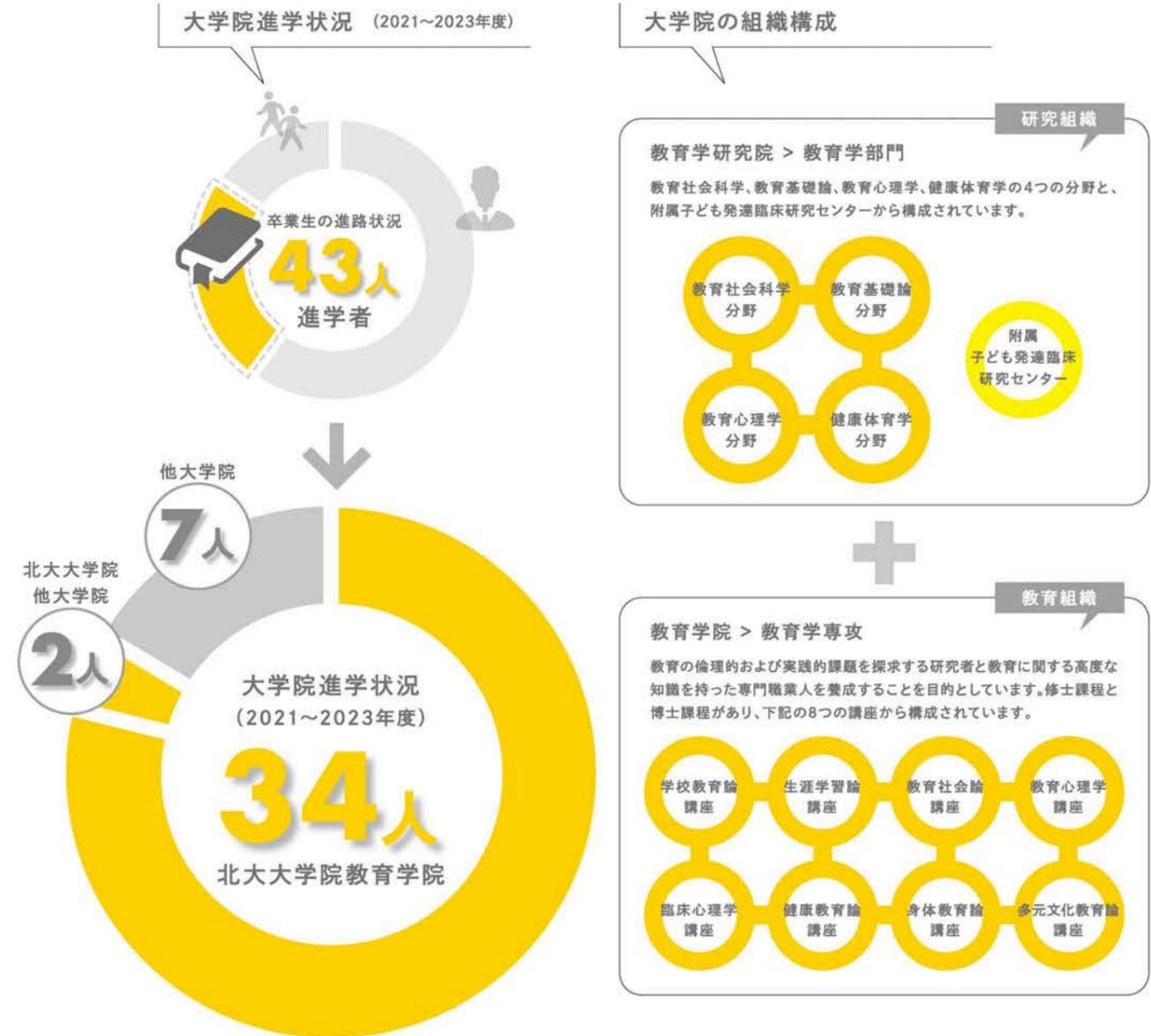
進学

graduate school

さらに深く教育学を学び研究する

北海道大学大学院教育学研究院・教育学院

大学院では、社会の変動に伴うニーズに機敏に反応するために、研究組織としての教育学研究院と、教育組織としての教育学院からなる体制で、研究と教育を進めています。



# 北海道大学大学院教育学院修士課程の 授業科目および履修基準

## 修士課程のカリキュラム

教育学院修士課程のカリキュラムは、以下の授業群から構成されています。

### ①「特論」(演習)

各教員の専門分野の基礎的・先端的な研究成果について文献講読等を通じて学んでいくいわゆるゼミナールです。

### ②「調査実験」(教育学調査実験、障害・臨床心理学調査実験)

指導教員による院生の個別指導が行われるほか、必要に応じて講座や近接専門分野の複数教員による合同研究指導および修士論文中間発表会などが行われます。

### ③「教育学研究法」

教育学研究の方法を学びます。修士課程1年生を主な対象とする研究法・調査法の入門的授業が開講されます。

### ④「総合講義」

講義のほかに演習や実験実習、フィールドワークなど、多様な形態で開講される授業です。一人の教員が特化したテーマを掘り下げる授業や、複数の教員が課題に総合的にアプローチする授業など、テーマや課題もさまざまです。

### ⑤「教育学実践研究」

現職社会人院生が自ら勤務する職場等での実践を材料に研究してレポート作成等を行うものです。

### ⑥「国際特別研究」

海外の大学・研究機関・学校・教育機関・企業 NPO 等で研究活動・教育活動やフィールド調査、学会発表を行ったときに単位を認めるものです。

### ⑦「特別講義」

優れた研究者を招聘して実施する集中講義です。

現在開講されている(今後開講予定の)「特論」の講義題目は下記の通りです。院生は自分が在籍していない講座の授業も自由に履修できます。

## 1. 学校教育論講座

●授業科目：教育史、学校史、教育思想、教育方法学、教科教育論、教育工学、生徒文化論、教育行政・制度論、教育ガバナンス論、教師教育論

## 2. 生涯学習論講座

●授業科目：コミュニティ教育※、青年期教育論、高等継続教育論、比較高等教育論、地域社会教育論 ※ 2025 年度以降の科目名は未定

## 3. 教育社会論講座

●授業科目：人材開発論、産業教育特論、職業能力形成特論、教育福祉特論、社会福祉特論、教育社会構造論

## 4. 教育心理学講座

●授業科目：言語発達論、乳幼児の発達と保育、思春期の発達と問題、学習・授業論、視覚認知過程、学習神経心理学、認知・動機づけ論

## 5. 臨床心理学講座

●授業科目：臨床心理学・ケアリング特論、福祉臨床心理学特論、発達臨床論

## 6. 健康教育論講座

●授業科目：運動生理学、時間生物学

## 7. 身体教育論講座

●授業科目：スポーツ史、身体教育学、スポーツ社会学、運動制御論

## 8. 多元文化教育論講座

●授業科目：比較・国際教育論、教育人類学とマイノリティ問題、多元文化教育概論、多文化理解論、異文化接触論

## 修士課程における単位履修の基準と方法

### ① 修了要件

修士課程(博士前期課程)では、修了要件として、原則として2年間で30単位以上を修得すること、修士論文の作成・提出が必要になります。

### ② 他研究科等の授業科目の履修

本学院において教育上有益と判断された場合は、他研究科等で履修した授業科目を本学院の修得すべき単位の一部とすることができます。

### ③ 既修得単位の認定

本学院に入学する前に大学院において修得した単位がある場合、本学院において教育上有益と認めるときは、本学院で修得すべき単位の一部とみなすことができます。

### ④ 単位互換制度

本学院と北海道教育大学大学院は単位互換協定を結んでいます。これにより、北海道教育大学大学院教育学研究科の開講科目を特別聴講生として履修し、本学院の単位とすることができます。

### ⑤ 本学院以外の単位修得の上限

②、③および④で修得した単位は、合計10単位を上限として、修士課程修了に必要な単位の一部とすることができます。

### ⑥ 授業科目の選択

授業科目の選択にあたっては、各自の研究課題に即しながら、研究の進展に必要な授業科目等を指導教員と個別に相談の上で決めていきます。修士課程の修学開始時である、4月のはじめには、大学院生のためのガイダンスが毎年開催されています。

### ⑦ 修士論文の作成

修士論文の作成は、指導教員および専門分野の他の教員等の研究指導を日常的に受けながら進めていきます。修士論文作成のための指導は修士課程1年目から開始されますが、2年目の6月には具体的なテーマや題目を決定し、12月下旬の論文提出締め切りをめざして研究の進展を図ります。

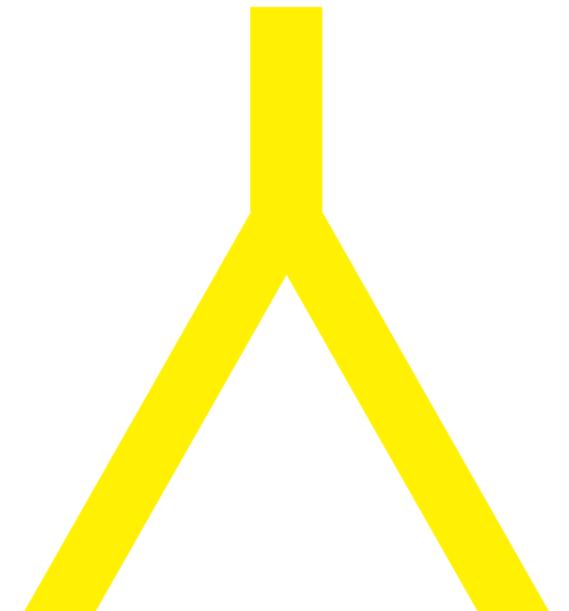
## 学期・開講時間および単位の計算方法

① 4月～9月の前期と、10月～3月の後期からなる2学期制をとっています。この間に、8月初旬～9月下旬に夏季休業、12月下旬～1月初旬に冬季休業、2月初旬～4月上旬春季休業があります。

② 1講時の授業時間は90分間です。本学院では、1日に6講時開講しています。開講時間帯は次の通りです。

1講時	2講時	3講時	4講時	5講時	6講時
8:45～10:15	10:30～12:00	13:00～14:30	14:45～16:15	16:30～18:00	18:15～19:45

③ 他大学・他大学院の教授を中心にした非常勤講師、および本研究院の教員による集中講義も夏季と冬季の休業期間中に開講されています。



## 大学院教育学院で指導にあたる 教育学研究院以外に所属する教員の紹介

教育学院で探求する内容は多岐にわたるため、教育学研究院だけでなく、北大内の他の研究院、機構に所属する教員とともに各講座が運営されています。

### 生涯学習論 飯田 直弘

高等教育の比較研究が専門で、特にイギリスと日本を中心とする入試制度(資格制度)の国際・国内比較に関心があります。現在は、国内外の多様な学習成果・学習歴の承認・評価枠組みに基づく大学入学者選抜方法の開発に関する研究などに取り組んでいます。



### 多元文化教育論 ジェフリー・ゲーマン

質的調査を通じたアイヌ民族の教育や文化伝承を中心に研究をしていますが、マイノリティ研究、多文化共生、異文化間理解教育、言語復興といった北海道、日本、世界的な課題も視野にいれています。



### 生涯学習論 田中 孝平

大学における学生の学びの経験について実証的・実践的に研究しています。特に、高大接続(高校と大学の間の接続)や、高校から大学への移行を経験する学生への支援の方法について、大学入学以前の取組も含めて関心をもっています。



### 多元文化教育論 土田 映子

アメリカ合衆国の移民の社会的・文化的適応過程や、集団的・地域的アイデンティティの形成についての研究経験があります。多文化社会における教育のあり方や役割、国民や民族集団のアイデンティティやイメージの形成に関心をもっています。



### 教育社会論 亀野 淳

学校(特に大学)での勉強と社会に出るからの仕事との関連について研究しています。大学院を担当していますが、全ての学部1、2年生を対象としたキャリア教育なども担当しています。



### 多元文化教育論 プンティロフ・ゲオルギー

国民アイデンティティ論における「我が国」と「他国」を議論する言説の分析を国民と地域アイデンティティに基づいて研究しています。博士課程の時に日本とロシアの国境における報道とそれぞれの国家レベルの報道の比較分析に興味を持ち、北方領土問題や日露交流について研究をしていました。現在、日本(特に道内)におけるロシア語教育について研究しています。



### 学校教育論 江本 理恵

私は教育の現場で発生した問題に対する問題解決を研究しています。最近、大学をフィールドとして、FD、IR、教育の内部質保証システムなどを研究対象としていますが、初等中等教育の現場も取り扱うことがあります。



### 多元文化教育論 堀 晋也

「これからの時代に即した外国語教育」について考えながら研究・教育活動に取り組んでいます。現在は学習者の動機づけ(モチベーション)、ICTを活用した自律学習、ヨーロッパの言語教育政策などに関心を持っています。



### 多元文化教育論 青木 麻衣子

オーストラリアの教育政策・制度を研究しています。多文化主義を国是とする同国が、国内の多様性と国家としての統一性にいかに関わり合いをつけているのかに興味があります。



## 北海道大学教育学部→大学院教育学院へ進学

### 「見方」が変わると、世界が広がる

塩崎 世佳さん 福祉スポーツ論ゼミ(2022年度卒業)

北海道大学大学院教育学院(修士課程2年)

高校生の頃から教員になりたいと考えており、教育について学問として深く学ぶことができる北海道大学教育学部へ進学しました。実際に入学してみると、「スポーツ社会学」や「障害学」など多様な分野にも新たに触れることができ、興味を持ちました。

こうして福祉スポーツ論ゼミに所属し、卒業論文では、車椅子を使用しながら弓道に取り組む人たちの経験について研究しました。彼らがどのような困難に直面し、それにどう向き合っているのかをインタビューを通じて調査しました。研究を進めるうちに、さらに深く学びたいと感じるようになり、一般企業への就職を辞退して大学院進学を決めました。

現在も、障害のある人たちの弓道を事例に、「武道」の実践を通じてどのように「障害」が経験されるのか、ということについて研究しています。弓道における「型」や作法が、障害のある人たちが実践する上でどのような意味を持つのか、身体的な「できなさ」だけではなく、「こうあるべき」という価値観や規範との関わりを通じて生じる「できなさ」にも注目しながら考察しています。修士課程修了後は博士後期課程に進学し、さらに研究を深めていく予定です。

私にとって、これまでの研究や北海道大学での学びを通じた一番の面白さは、今までの自分にはなかった新しい「見方」を得られたことにあります。私自身も、「障害」や「武道」に対する新たな視点を社会に提示できるような研究をしていきたいと考えています。

北海道大学教育学部では、予想もしなかった興味や関心に出会えるチャンスがあります。私自身、入学当初は現在の研究をするなんて想像もしていませんでした。自分が何について学びたいかまだ分からない人でも、すでに関心のあることがなんとなく定まっている人であっても、北海道大学教育学部でずっと、自分の興味を持てることを見つけられると思います。



## 北海道大学教育学部→大学院教育学院→起業

### 教育学部で学び、起業へと繋がった道

小幡 基さん 発達心理学ゼミ(2018年度卒業)

北海道大学大学院教育学院修士課程(2020年度修了)

勤務先: 株式会社 WREERA 取締役

#### 【仕事】

生徒に勉強を教えるのが最大の仕事です。その他にも、保護者との面談や広報活動、経営者として人との繋がりを作り、ビジネスチャンスを増やす取り組みなどもしています。

私は高校生の頃、教員になりたいと思いつつも、進むべき学部が決めきれず、北海道大学に総合入試で入学しました。大学1年生の時、教育学部の授業で「教育って面白い!」と感じ、教育学部に進学を決めました。

卒業では幼少期から大学生までの学習に対する価値観がどう形成されるかについて、大学院では探究的な学習の時間で先進的な取り組みをしている高校を事例に、その成功要因について研究しました。教育の学びを深める中で、次第に自分が興味を持つ分野が見えてきました。大学院修了後、大手塾に就職しましたが、次第に自分の理想と現実にギャップを感じるようになりました。塾業界では出世するほど、教える現場から離れることが多く、自分が理想とする教育ができないことに悩みました。そんなとき、教育学部の同期から「一緒に空き家を利用した学習塾を始めないか?」と誘われ、塾を開業する決断をしました。

経営する塾では、日々生徒に勉強を教えながら、保護者との面談や広報活動なども行っています。生徒一人ひとりに合った教育方法を見つけ、彼らの成長を支援できることにやりがいを感じています。また、教育学部で身についた「生徒の気持ちに寄り添う力」や「共感する力」が、仕事に大いに活かされています。

大学入学時、自分には特別な才能もなく、何をしていたか分からないと考えていました。北海道大学教育学部で学ぶ中で、そんな自分だからこそ、できない、分からないという子どもたちの辛さに寄り添い、一緒に学ぶことができる気がしました。学問として教育を学びたい人はもちろん、進路に迷った人にも教育学部はおすすめです。そして、素敵な同期や先輩・後輩、先生方に出会い、一生の宝物ができます!



# 資格について Q & A

**1** 北海道大学教育学部で取得できる  
教員免許状の種類を教えてください。

取得できる免許状は以下の通りです。

- 1) 高等学校教諭1種免許状(地理歴史、公民、保健体育)
- 2) 中学校教諭1種免許状(社会、保健体育)
- 3) 特別支援学校教諭1種免許状

※他学部が開設している「教科及び教科の指導法に関する科目」を履修することにより、  
その他の免許状を取得できる場合もあります。

**2** 北海道大学教育学部の教員養成の  
特徴を教えてください。

教員養成を主目的としている教員養成系大学・学部とは異なり、北海道大学教育学部では教員免許の取得を卒業要件としていません。そのため、教員免許状を取得しようとする学生は、学部の専門教育以外に、教職科目を履修しなければなりません。このことは、学生が教員免許状の取得を自身の判断により積極的に行っていることを意味します。北海道大学教育学部では、学校だけでなく、地域・家族・企業・NPO・行政など社会のさまざまな領域で行われている教育を視野に入れた研究にとりくんでいます。これらの成果を生かし、追求している「人間の科学としての教育学」の一環であることが、北海道大学教育学部の教員養成の特徴です。

**3** 教員免許状を取るのには  
大変でしょうか？

教員免許状を取得するためには、全学教育科目、専門教育科目に加えて、多くの教職科目を履修しなければなりません。中学校教諭1種免許状や高等学校教諭1種免許状を取得する場合、卒業単位以外に約30単位を修得する必要があります。特別支援学校教諭1種免許状を取る場合は、さらに26単位を修得する必要があります。専門科目とパッチングしないように、教職科目は主に1講時と5講時に開講されています。教職課程を履修しない場合と比べて負担が大きいことは間違いありません。

**4** 北海道大学教育学部では、毎年どのくらいの学生  
が教員免許状を取得しますか？ また、実際に教員  
に採用されるのは何人くらいいますか？

年度によって差がありますが、学士課程(学部)と大学院修士課程のうちに、高校、中学、特別支援を合わせて20名程度が免許状を取得します。そのうち、卒業(修了)後ただちに教員になる人の数は、多い年で10名程度です。近年は公立学校の教員採用試験の志願倍率が低下し、教職はかつてのような“狭き門”ではなくなっています。一方で、民間企業やNPOなどの経歴を経て教職に就く人が増えています。このように教員のキャリアの動向が変化するなかで、教育学や関連の諸科学を学び、教育の課題を広い視野から捉え、掘り下げていくことのできる教師がいつそう求められているといえるでしょう。

## 教員就職状況

※キャリアセンター調べ(2024年4月15日時点での速報値)。  
科目等履修生は免許状取得者数から除外している。

年度	卒業生数	免許状取得者数	教員就職数
2023	63	9	1
2022	59	14	4
2021	49	13	2
2020	67	10	4
2019	47	11	3

## 大学院教育学院\*

年度	修了者数	免許状取得者数	教員就職数
2023	46	3	1
2022	38	2	3
2021	42	7	8
2020	45	5	1
2019	38	4	7

\*教育学院の卒業生数は、修士課程修了者数。修士課程の学生が1種免許状を取得した場合は大学院の取得者実数に計上している。

**5** 公認心理師の資格を取れると  
聞いたのですが。

教育学部では「公認心理師受験資格」を取ることができます。学部では2018年度から公認心理師受験資格に対応したカリキュラムを編成しています(心理実習など一部の授業で履修定員があります)。教育学部で所定の単位を修得した後は、大学院で公認心理師の所定のカリキュラムを修めるか、卒業後、一定期間、心理師としての実務経験を積むことで、国家試験の受験資格が得られます。

**6** 北海道大学教育学部で学ぶ心理学の  
特徴は何ですか？

北海道大学教育学部では、教育的現象を広く研究対象にして、教育を科学することを目指しています。心理学では主に教育心理学、臨床心理学といった領域で研究を行っていますが、研究対象は乳幼児から青年・成人まで、研究方法も実験や調査などの基礎的なものから観察や聞き取りなど臨床的な面を重視するものまで様々です。心理学という学問にはいろいろな領域がありますが、ひとが為す営み・現象を心理的な面からいかに捉えるか、という視点から様々なアプローチをしています。

**7** 幼児教育関連の  
資格は取れますか？

幼稚園教員免許状の取得はできません。保育士資格についても、資格取得カリキュラムはありません。しかし、例年、国家試験による保育士資格試験を受験し、卒業までに保育士資格を取得し、保育士等として就職する学生もいます。

**8** 社会教育主事・社会教育士について  
教えてください。

社会教育主事は、都道府県及び市町村の教育委員会の事務局に置かれる専門職員で、住民の自主的な学びや社会教育施設における学習実践をサポートし、人が育つ地域社会をつくるためのコーディネーターの役割を担っています。社会教育主事課程に定められた講義を履修することによって任用資格が得られます。この資格があれば自治体に就職した後に、必要に応じて社会教育主事として発令されます。また、社会教育に関する科目の必要な単位を全て修得すると、社会教育士(養成課程)と称することができます。

**9** このほかに北海道大学教育学部で  
取得できる資格にはどんなものがありますか。

社会福祉主事、児童福祉士、学芸員の資格を取得することができます。

# 入試案内・オープンキャンパス

入試案内				
入試形態	日程	募集人数		
一般選抜	学部別入試	前期日程	2月 25日	20人
		後期日程	3月 12日	10人
国際総合入試	総合入試文系	前期日程	2月 25日	95人
				(うち教育学部への移行定員20人)
私費外国人留学生入試	総合入試文系	11月下旬	募集要項は5月下旬に公表予定	5人
帰国生徒選抜		11月下旬	募集要項は5月下旬に公表予定	若干名
		11月下旬	募集要項は5月下旬に公表予定	若干名

問合せ先

<https://www.hokudai.ac.jp/admission/>

北海道大学学務部入試課：〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目 TEL: 011-706-7484

入試形態

日程

募集人数

入試形態	日程	募集人数
3年次編入学・転部試験	11月中下旬 ※募集要項は8月に公表予定	10人

問合せ先

<https://www.edu.hokudai.ac.jp/> (前年度の募集要項および筆記試験問題を北大教育学部のウェブサイトでご覧いただけます。)

北海道大学教育学部事務部教務担当：〒060-0811 札幌市北区北11条西7丁目 TEL: 011-706-3083

## オープンキャンパス

日時：8月上旬の日曜・月曜

小学生・中学生・高校生(高専生含む)・高卒生(本学志願者)を対象とした自由参加プログラム、及び高校生(高専生含む)のみを対象とする高校生限定プログラムが開催されます。

オープンキャンパスで  
待っています!



オープンキャンパスについての参加方法と詳細はこちら

問合せ先

<https://www.hokudai.ac.jp/admission/>

北海道大学学務部入試課：〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目 TEL: 011-706-7484

北海道大学 教育学部

発行：2025年3月

編集：北海道大学大学院教育学研究院・教育学院・教育学部 社会連携委員会

問い合わせ先 / 北海道大学教育学部事務部教務担当

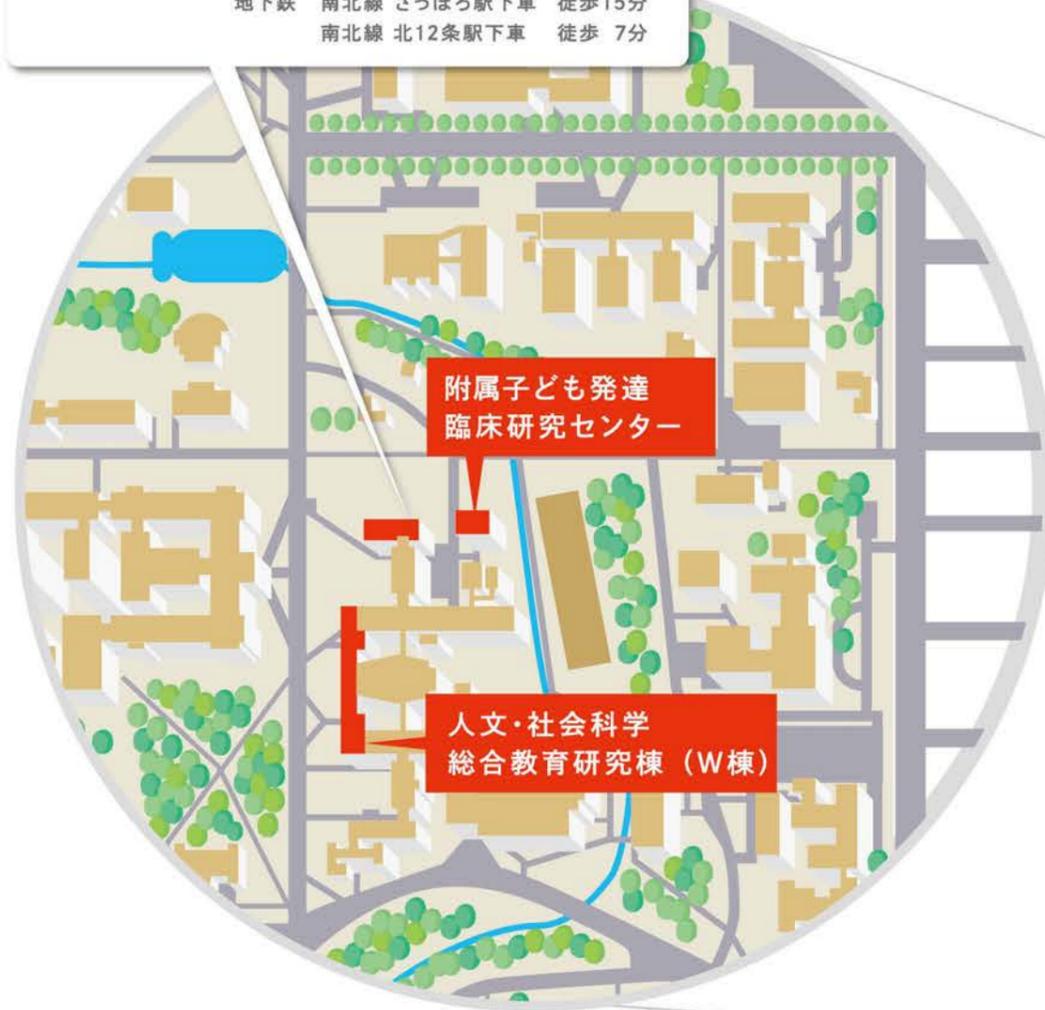
〒060-0811 札幌市北区北11条西7丁目 TEL: 011-706-3083 E-mail: edkyomu@edu.hokudai.ac.jp

※本冊子に掲載されている情報は2025年3月現在のものです。最新情報はウェブサイトでご確認ください。

### 北海道大学 教育学部

住所：〒060-0811 札幌市北区北11条西7丁目

最寄り駅のご案内： JR 札幌駅下車 徒歩15分  
 地下鉄 南北線 さっぽろ駅下車 徒歩15分  
 南北線 北12条駅下車 徒歩 7分



### 「人が育つ社会」のグランドデザインを描く

教育学部 附属子ども発達臨床研究センター

<https://www.edu.hokudai.ac.jp/rccd/>



附属子ども発達臨床研究センターは、発達に関する基礎研究と臨床・実践研究を結び付け、「人が育つ社会」のグランドデザインを描くことを目的としています。発達と教育に関わる多様な領域の研究者・実践者の交流を促進し、様々な支援方法の開発研究にも取り組んでいます。本センターの前身は、乳幼児発達臨床センター(1978年設置)であり、乳幼児発達に関する基礎的研究と教育実践を展開してきました。2006年に現在の名称に変更し、2014年度からは子ども発達支援研究部門・子ども臨床研究部門・教職高度化研究部門の三部門体制で研究を推進しています。





## 北海道大学 教育学部

〒060-0811 札幌市北区北11条西7丁目

TEL : 011-706-3083

E-mail : [edkyomu@edu.hokudai.ac.jp](mailto:edkyomu@edu.hokudai.ac.jp)  
(教育学事務部教務担当)

<https://www.edu.hokudai.ac.jp/>